

十二月三十一日（むかしは「おおつごもり」と言いました。）の午後十一時四十五分ごろから、寒いのをがまんして外に出ると、ゴーゴーと鐘かねの音が聞こえてくると思います。そう、除夜じよやの鐘。

除夜の鐘はふつう百八つ鳴らします。それは煩惱ぼんのうの数だといわれています。仏教では煩惱というのはいけない心。鐘をききながら自分の心と向き合い、よりよく生きようと心のおせんたくをする、という意味があります。

しかし、せっかくお寺の多い京都に住んでいる私たちなので、たまには自分で鐘をつくというのも楽しいですよ。市内で一般の人にも除夜の鐘をつかせてくれるお寺はけっこうあるものです。

おすすめは上京区小川通寺之内下ルの報恩寺ほうおんじ。重要文化財の鐘は「つかずの鐘」ともいわれていて、普段は一切ついていません。じつは、ここにはこわい伝説があるので。大昔、西陣織のでつちどんとおへこさんがけんかした末、おへこさんがここで首をつって死んでしまったそうなのです。それ以来、鐘つき堂から夜な夜なすすり泣きの声。それで、鐘は除夜の日以外封印ふういんされてしまいました。

ちなみに、この寺には毎晩吠ほえて、豊臣秀吉の安眠をさまたげた虎の絵もあります。黒田長政とお父さんの黒田如水すいの位牌いはいもあります。黒田如水は官兵衛という名前で、何年前のNHK大河ドラマの主人公にもなりました。長政はこの寺で最期さいしをむかえたそうなのです。

ほかにたくさんのお寺が鐘をつかせてくれますので、あたたくしてでかけてみてはいかがでしょう。整理券を配る寺もあります。詳しくはネットでも検索けんさくできますよ。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

（ ） 除夜の金もち （ ） 除夜の金

（ ） 報恩寺ののろい （ ） 除夜の鐘

② むかしは大みそかのことを何と言いましたか。

③ おへこさんとは西陣織の下働きをした女中さんのことです。彼女ととけんかしたのは誰？

④ 除夜の鐘をききつつ、心をどうするのですか？

⑤ 報恩寺にないものはなんですか？

（ ） 虎の絵 （ ） 秀吉の鐘 （ ） 官兵衛の位牌

⑥ 報恩寺の鐘はふだんはどうなっていますか？

（ ） されている

⑦ 人生の最後のときには「さいご」は漢字でどう書きますか？

⑧ 虎は何の中から吠えたのでしょうか。

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） 報恩寺しか鐘をつかせてくれない。

（ ） 報恩寺の鐘は重要文化財である。

（ ） 除夜の鐘は1月1日につき始める。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

